

令和元年 ー関西大学ラグビー戦績ー

Bリーグ8位(B1グループ1勝3敗1分、中位グループ0勝3敗)

大学Bリーグ B1

順位		関西大学	追手門学院大学	大阪経済大学	神戸大学	帝塚山大学	花園大学	勝	負	分
1	関 西 大 学	*	78 - 0 ○	111 - 0 ○	112 - 0 ○	141 - 7 ○	112 - 17 ○	5	0	0
2	追手門学院大学	0 - 78 ●	*	35 - 21 ○	40 - 29 ○	34 - 12 ○	42 - 12 ○	4	1	0
3	大 阪 経 済 大 学	0 - 111 ●	21 - 35 ●	*	48 - 26 ○	26 - 19 ○	36 - 21 ○	3	2	0
4	神 戸 大 学	0 - 112 ●	29 - 40 ●	26 - 48 ●	*	36 - 28 ○	41 - 41 △	1	3	1
5	帝 塚 山 大 学	7 - 141 ●	12 - 34 ●	19 - 26 ●	28 - 36 ●	*	17 - 12 ○	1	4	0
6	花 園 大 学	17 - 112 ●	12 - 42 ●	21 - 36 ●	41 - 41 △	12 - 17 ●	*	0	4	1

大学Bリーグ B2

順位		龍谷大学	大阪産業大学	京都大学	大阪国際大学	大阪教育大学	大阪学院大学	勝	負	分
1	龍 谷 大 学	*	49 - 10 ○	41 - 10 ○	70 - 7 ○	36 - 7 ○	68 - 5 ○	5	0	0
2	大 阪 産 業 大 学	10 - 49 ●	*	53 - 19 ○	28 - 21 ○	33 - 14 ○	45 - 26 ○	4	1	0
3	京 都 大 学	10 - 41 ●	19 - 53 ●	*	35 - 22 ○	28 - 34 ●	48 - 35 ○	2	3	0
4	大 阪 国 際 大 学	7 - 70 ●	21 - 28 ●	22 - 35 ●	*	39 - 38 ○	61 - 12 ○	2	3	0
5	大 阪 教 育 大 学	7 - 36 ●	14 - 33 ●	34 - 28 ○	38 - 39 ●	*	19 - 19 △	1	3	1
6	大 阪 学 院 大 学	5 - 68 ●	26 - 45 ●	35 - 48 ●	12 - 61 ●	19 - 19 △	*	0	4	1

大学Bリーグ 上位グループ

順位		関西大学	龍谷大学	追手門学院大学	大阪産業大学	勝	負	分
1	関 西 大 学	*	31 - 8 ○	88 - 5 ○	106 - 0 ○	3	0	0
2	龍 谷 大 学	8 - 31 ●	*	57 - 7 ○	76 - 10 ○	2	1	0
3	追手門学院大学	5 - 88 ●	7 - 57 ●	*	52 - 19 ○	1	2	0
4	大 阪 産 業 大 学	0 - 106 ●	10 - 76 ●	19 - 52 ●	*	0	3	0

大学Bリーグ 中位グループ

順位		大阪国際大学	京都大学	大阪経済大学	神戸大学	勝	負	分
5	大 阪 国 際 大 学	*	38 - 38 △	41 - 19 ○	61 - 40 ○	2	0	1
6	京 都 大 学	38 - 38 △	*	36 - 33 ○	42 - 35 ○	2	0	1
7	大 阪 経 済 大 学	19 - 41 ●	33 - 36 ●	*	31 - 30 ○	1	2	0
8	神 戸 大 学	40 - 61 ●	35 - 42 ●	30 - 31 ●	*	0	3	0

大学Bリーグ 下位グループ

順位		花園大学	大阪教育大学	大阪学院大学	帝塚山大学	勝	負	分
9	花 園 大 学	*	24 - 26 ●	43 - 12 ○	87 - 7 ○	2	1	0
10	大 阪 教 育 大 学	26 - 24 ○	*	33 - 34 ●	41 - 19 ○	2	1	0
11	大 阪 学 院 大 学	12 - 43 ●	33 - 34 ○	*	22 - 14 ○	2	1	0
12	帝 塚 山 大 学	7 - 87 ●	19 - 41 ●	14 - 22 ●	*	0	3	0

2019 年リーグ戦・試合結果

Bリーグ12チーム中8位で2019年度のリーグ戦を終了しました。展開力、突破力など攻撃面で良いシーンを多く見ることができましたが、一方で簡単に点を取られることが多く、防御面での課題が目につきました。出入りの激しい試合が多かったように思います。ワールドカップが成功のうちに終わり、ラグビーへの高い関心が続いています。他チームの応援人数も父兄含め増えております。OBの皆様、グラウンドに足を運び、現役チームへの声援をよろしくお願いします。

リーグ戦第1節 (VS関西大学)

9/8(日) 14:00KO 関西大学G

●神戸大学 0-112 関西大学○

前半	0	T	8	後半	0	T	10
	0	G	5		0	G	6
	0	PG	0		0	PG	0
計	0	-	50	計	0	-	62

【戦評】

試合開始から、相手陣に入って素早くプレッシャーをかけ、非常に高い集中力を見せた。しかし、キックが多用されるゲーム展開の中で、ハイボールの競り合いで劣勢に立ち、徐々に点差が開いていった。その後もキックチャージなどで好プレーが出たものの、最終的には関大に自由にプレーさせる展開に持ち込まれてしまった。

リーグ戦第2節 (VS追手門学院大学)

9/15(日) 12:00KO 関西大学千里山中央G

●神戸大学 29-40 追手門学院大学○

前半	3	T	2	後半	2	T	4
	2	G	2		0	G	3
	0	PG	0		0	PG	0
計	19	-	14	計	10	-	26

【戦評】

前半は敵陣でよくプレーできており、ちゃんとトライをとることができてよかった。後半も敵陣でプレーしている場面も多く見られたが、ディフェンスの時単調に抜かれてこのような結果になった。勝てる試合を落としたというイメージだった。

リーグ戦第3節 (VS大阪経済大学)

10/6(日) 14:00KO 追手門学院大学G

●神戸大学 26-48 大阪経済大学○

前半	1	T	2	後半	3	T	5
	0	G	2		3	G	3
	0	PG	0		0	PG	1
計	5	-	14	計	21	-	34

【戦評】

神戸大学のペナルティを重ね自陣まで食い込まれる最悪の立ち上がりとなったがオフェンスはテンポよく、なんとか立て直した。しかし前半は攻撃が上手く噛み合っておらずオーバーがテンポの速い攻撃について行けていなかった。後半はうまく噛み合い始めた。ディフェンスでは相手の攻撃を上げることができず、タックスするも高く、食い込まれ得点を許す場面が多かった。

リーグ戦第4節 (VS帝塚山大学)

10/20(日) 12:00KO 関西大学千里山中央G

○神戸大学 36-28 帝塚山大学●

前半	3	T	3	後半	2	T	1
	2	G	3		2	G	1
	1	PG	0		0	PG	0
計	22	-	21	計	14	-	7

【戦評】

前半から取っては取られてのシーソーゲーム。特に相手のリモールや近場のオフェンスに苦戦し、自陣でプレーすることが多かった。それでも少ないチャンスを実にトライに繋げ、なんとか勝利することができた。

リーグ戦第5節 (VS花園大学)

10/27(日) 13:00KO 神戸大学深江キャンパスG

△神戸大学 41-41 花園大学△

前半	3	T	3	後半	2	T	4
	3	G	2		2	G	1
	1	PG	0		1	PG	0
計	24	-	19	計	17	-	22

【戦評】

お互いアタックの長所が光った試合だった。花園大学の留学生を交えた強力なアタックに苦戦したものの、今期唯一のホームゲームで神戸大学らしいラグビーで応戦できた。

リーグ戦第6節 (VS京都大学)

11/10(日) 14:00KO 龍谷大学南大日G

●神戸大学 35-42 京都大学○

前半	2	T	4	後半	3	T	2
	2	G	4		3	G	2
	0	PG	0		0	PG	0
計	14	-	28	計	21	-	14

【戦評】

試合の入りで流れを相手に持っていかれた。スクラムでペナルティを得るなどでセットプレーの強化の成果が出た試合だった。後半の追い上げも後一歩で及ばず、トライを取り切る力が課題となった。

リーグ戦第7節 (VS大阪経済大学)

11/17(日) 14:00KO 大阪経済大学G

●神戸大学 30-31 大阪経済大学○

前半	2	T	4	後半	2	T	1
	2	G	2		0	G	1
	1	PG	0		1	PG	0
計	17	-	24	計	13	-	7

【戦評】

開始早々にトライをとられ、その後も流れに乗ることが出来ずさらに失点を重ねてしまった。そこからは巻き返し、キックの差まではつめることができたが自陣でのDFで簡単にトライを取られてしまうという弱さが表れた試合だった。

リーグ戦第8節 (VS大阪国際大学)

11/24(日) 12:00KO 大阪国際大学松下町G

●神戸大学 40-61 大阪国際大学○

前半	2	T	4	後半	4	T	5
	2	G	3		3	G	5
	0	PG	0		0	PG	0
計	14	-	26	計	26	-	35

【戦評】

入りが悪くスコアがひらくも、トライを重ねなんとか食らいつく。が、やはりディフェンスのつめが甘く、次第に点差は開いていった。ディフェンスに課題の残る試合となった。



入替戦結果

大阪体育大学：Bリーグ降格、
甲南大学、大阪工業大学：Bリーグ昇格

開催日	対戦カード			
12月8日(日)	大阪体育 (Aリーグ8位)	21-43 (14-17)	関西大学 (Bリーグ1位)	
	摂南大学 (Aリーグ7位)	66-21 (33-7)	龍谷大学 (Bリーグ2位)	
	帝塚山大学 (Bリーグ12位)	7-50 (0-26)	甲南大学 (Cリーグ1位)	
	大阪学院大学 (Bリーグ11位)	21-45 (7-19)	大阪工業大学 (Cリーグ2位)	
	花園大学 (Bリーグ9位)	29-12 (24-7)	大阪市立大学 (Cリーグ4位)	
	大阪教育大学 (Bリーグ10位)	33-24 (21-7)	大阪大学 (Cリーグ3位)	

三商戦結果

三商戦 (VS一橋大学)

12/22(日) 11:00KO 大阪市立大G

●神戸大学 12-34 一橋大学○

前半	1	T	3	後半	1	T	3
	1	G	2		0	G	0
	0	PG	0		0	PG	0
計	7	-	19	計	5	-	15

【戦評】

前半は4回生中心、後半は新チーム中心のメンバーで挑んだ。序盤、いいテンポでアタックできていたが、トライを取りきれず相手の雰囲気飲まれてしまった。後半は要所で良いプレーが見られたが、課題も多く残る試合となった。

三商戦 (一橋大学VS大阪市立大学)

12/22(土) 11:00KO 大阪市立大学G

○大阪市立大学 64-0 一橋大学●

三商戦 (VS大阪市立大学)

6/30(日) 11:00KO 大阪市立大学G

●神戸大学 29-40 大阪市立大学○

三商戦 1位：市大 2位：一橋 3位：神大

(参考) 一橋大学：関東大学対抗戦Bリーグ 3位(4勝2敗1分)

大阪市立大学：関西大学Cリーグ 4位

前シーズンの総括とチームの課題 監督 森岡礼次(H1)

昨年はBリーグに復帰後5年目のシーズンを過ごしましたが、近年の私学の新人獲得やコーチングスタッフの充実度は高く、かなり苦戦を強いられました。一次リーグ6チーム中4位となり、二次リーグは5~8位決定リーグに参戦、最終成績8位でシーズンを終えました。春の定期戦では近年連敗が続いていた甲南大学と引き分け、近国体では決勝戦で大阪大学に僅差で敗れ、良いところまで行きながら勝ちきれない印象でしたが、最後までそのイメージを払拭できませんでした。

次年度はこの反省を踏まえ、「勝ちにこだわる」というマインドで1年間取り組み続けたいと思います。例年は目標順位を決め、それに向かって課題を決めて活動してきましたが、それが「必要なことをしっかりやる」ではなく、「自分たちが必要だと思えることをやる(そう思わなければいけない)」という発想に繋がってしまったと思います。この点が自分のアドバイスできなかった点だと考えています。

「自分たちの理想を追求し続ける」—これが、私の新チームの目標です。だから「勝つために必要なことをやる」ではなく「勝ちにつながる可能性があることはできる限りやる」というスタンスで取り組もうと思います。魅力を引き出し、多くの新入部員を迎えたい、同時に応援いただくOBの方々にも「来てよかった」と喜んで頂けるようにしたい、何よりも現役自身が「このチームでラグビーをしてよかった」と心から思える一年を過ごせるよう尽力したいと考えています。応援よろしくお願いします。

2020年度 新チーム首脳陣紹介

- 主将 三輪佑史 (国際人間科学・新4)
- 副将 加藤 輝 (経済・新4)
- 主務 桑田雅也 (経済・新3)
- 副務 岡田侑大 (海事科学・新3)

キャプテンとしての抱負と今年のチームの方針

今年度主将を務める事となりました、国際人間科学部発達コミュニティ学科3回生、三輪佑史(みわたすく)です。まずは、常に支援してくださっているOBの皆様に感謝したいと思います。資金面もそうですが、試合などにおいてもOBの皆様の声援が後ろ盾となっており、本当に心強く感じています。いつも本当にありがとうございます。

主将としての抱負としては、年間を通して神戸大学ラグビー部を「勝てるチーム」にしたいと考えています。実際に去年1年通して神戸大学ラグビー部は4勝しかしていません。私はこの原因は直近の3年間で「負け癖」がついてしまっている事にあると考えています。その「負け癖」をなくすためにも、今年度のチームは、定期戦などでも常に勝利を意識した試合運びをしていきたいと思っています。

しかし、本当に勝てるチームなのかそう思う方は多くいらっしゃると思います。そこでデータを用意いたしました。

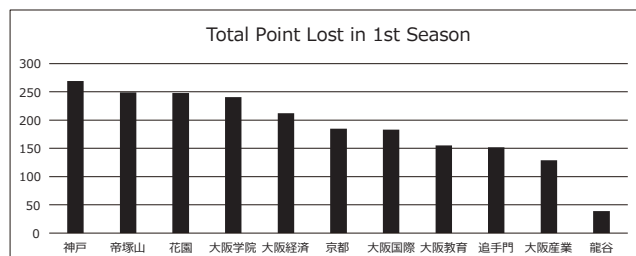


図1 前半シーズン総得点数(各大学ごと)

図1は2019年度前半シーズンの各大学ごとの総得点をグラフにしたものです。(関西大学は比較にならなかったため省いています。) このグラフから分かる通り、各大学の総得点はシーズンの結果に直接関係していると考えられます。さらに、各大学の前半シーズンの失点数を出したものが図2です。これらの2つのグラフを見れば一目瞭然か

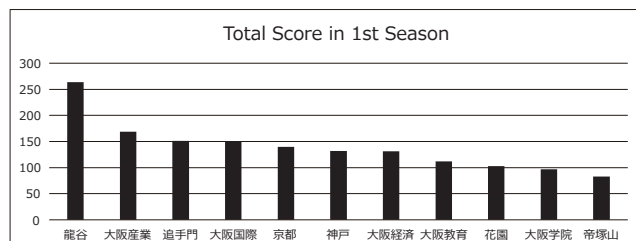


図2 前半シーズン総失点数(各大学ごと)

と思いますが、図2は基本的に図1の順番を逆にした形なのですが、神戸大学だけが例外となっており、図1では6位なのに関わらず図2では1位となっています。

これは昨年度のチームがディフェンスに問題点を抱えていたことが顕著に表れているデータです。今年度は4回生が抜け少しチームが変わりますが、BKのメンバーはほぼ変わっていません。したがって、このアタック力のままディフェンスの力をつければ、Bリーグ上位進出は不可能ではないと私は考えています。

上述したように今年度の神戸大学ラグビー部は「ディフェンス」を武器にして戦いたいと考えています。それには相手のアタックに負けないフィジカルをつけることも大事ですし、チームとしてのディフェンスを定着させる必要があります。幸い、春シーズンは練習する時間が長くとれるためディフェンスをメインに練習を重ねていきたいと考えています。そこで、部員全員の基礎力をつけたのちに近畿国立大戦や定期戦に臨んでいく考えです。また、その後の菅平合宿での実戦においてチームとしてのモチベーションをシーズンに向けて高めていき、シーズンで必ず「上位リーグ」に進出したいと考えています。

最後になりますが、チーム2020が本格的に始動するにあたり、今年度も必ずOBの皆様の支援が必要です。4/29にはOB戦もありますので、是非来ていただきまして、今年度のチームの雰囲気を感じていただきたいと考えております。これからもご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今年度のOB会活動報告

OB会の皆様、いつもOB会活動にご支援、ご協力を頂き感謝申し上げます。昨年はワールドカップラグビーが日本で初めて開催され、日本代表の献身的な活躍で多くの人々の注目を集めました。多くのOBの方々も熱い応援を送られたことと思います。ラグビーのおもしろさだけでなく、規律、リスペクト、ノーサイド等の言葉に表されるラグビーの精神性にまで関心が集まったことは非常にうれしいことでした。

さて、ご存知の通り、昨シーズンの神戸大ラグビー部は、現役の頑張りでBリーグに残留致しました。しかし、Bリーグ上位を目指すにはまだまだ課題も多く、今年の現役には課題克服に向けて一層の頑張りを期待したいと思います。

OB会の今年度計画は、①深江グラウンド芝生化第二期工事完成、②財政基盤の強化に向けた年会費収入の改善、を主体と致しました。更に、3年後の創部100周年に向けたOB会活動活性化を目的として理事会組織の強化も行いました。

まず、深江グラウンド第二期工事は、河野理事の引き続きのご尽力により人工芝エリアを含めた海側サイドライン外側の芝生化工事を実施しました。その収支については、前年の繰越金14,159千円に前年寄付2,186千円、兵庫県工事助成金1,855千円を加えた資金18,201千円から工事代金15,984千円を支払い、2,216千円を今後のリザーブとして残しています。維持管理については、大学の学生支援課がかなり主体的に取り組むようになってきており、水道代(昨年は約1,600千円)や必要な維持管理費を大学側の支出と六甲クラブ等からのグラウンド貸出収入で賄う目途が付きましました。尚、春、夏、秋の芝刈り作業については、明慶氏(S53年)を中心に板垣氏(S55年)、福本氏(S63年)といったOBがボランティアで汗を流してくれていることを申し添えます。今年も天候に恵まれ、春から順調に芝生が育ち、青々とした芝生のグラウンドで現役諸君が練習や試合に励んで欲しいと願っています。

次に年会費収入の改善については、OB数の多い東京支部を含めて協力をお願いしています。現状、昭和年次の学年についてはあまりバラつきがなく高い納付率となっ

ておりますが、平成年次については、学年によりかなりの差があるのが実態です。理事会メンバーによる働きかけと2千円の会費値上げもあって、今年度は年会費収入予算260万円をクリアできる見込みで、対前年でもかなり増収となる見込みですが、本来しっかりとOB会の財政基盤があってこそ現役チーム戦力強化に向けた支援が可能です。現状の年会費収入はまだそのレベルではありません。言うまでもなく、我々OBは皆、現役時にOB会支援のお世話になっているのです。神戸大ラグビー部が今後も歴史と伝統を受け継ぎ、更に永続発展するために、OB会の支援は不可欠です。これからも学年幹事毎または個別に協力を呼びかけてまいりますので、納入未済の方はこの機会に是非年会費納入をお願いします。

今年からは創部100周年に向けての企画、準備を本格化させる必要もあります。理事会メンバーも一丸となってさらに努力してまいりますので、OBの皆様のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

令和2年1月27日記

田中計久

2020年度OB総会と試合予定

2月14日時点の情報です。ホームページで最新情報をご確認ください。

- ・OB戦、OB総会及び現役交歓会：4/29(水) 予定
- ・東京支部総会：未定
- ・三商戦 対市立大：未定
- ・三商戦 対一橋大：未定
- ・定期戦 対東京海洋大：5/3(日) 予定 海洋大G
- ・定期戦 対甲南大：未定
- ・定期戦 対関学大：6/20(土) 関学G
- ・近国体 未定

ホームページのご案内

試合予定や結果など、随時最新情報を掲載しています。ご覧ください。

OB会：<https://ameblo.jp/kobe-u-rfc-ob/>

現役：<https://www.koberfc-official.com/>

OB会費納入の願い

納入率(会費を納入されている会員数÷全会員数)が4割程度という状況で、ここ数年のOB会収支は逼迫しており、繰り越し金も底つきようとしています。節約に努めていますが、現役支援には資金不足の状況です。OB各位におかれては、ご自分だけではなく同学年の仲間に対し、OB会費の支払いを働きかけていただきたく、ご協力よろしくお願いします。

【年会費】

卒業後10年未満 6,000円、卒業後10年以上 12,000円

*マネージャー、賛助会員の会費は年額5,000円です。

【振込先：凌霜ラガークラブ】

三井住友銀行 天満橋支店 普通口座 0957978

三菱UFJ銀行 大阪駅前支店 普通口座 0027557

ゆうちょ銀行 口座 00960-4-302152

尚、自動引き落とし(毎年6月末)での納入方法も用意していますので、ご希望の方は事務局までご連絡をお願い致します。口座振替用紙を送付させていただきます。

神戸大ラグビー部OB会事務局

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1

ベルモントコミュニケーションズ(株)内

Tel&Fax: 06-6213-5948

Mail: kobe.u.rfc.ob@gmail.com